

COVID-19 流行下における がん患者の在宅移行支援 ～OCNS としての役割～

がん患者の療養支援において、COVID-19 の感染対策を図るためには、面会制限のある状況下で家族との関係性を構築しアプローチすることが難しくなり、流行期には医療従事者の休職による人手不足といった課題と向き合いながら、在宅移行支援を行うことに様々な課題がみえてきています。

そこで、がん患者の在宅移行支援における OCNS の役割について、在宅看護の視点からご講演いただき、参加者の皆様が抱えられている課題をもとに、ディスカッションする時間を持ちたいと思います。

日時： **2023年1月27日(金) 18:00～19:30**

場所： 兵庫県立大学 看護学研究科遠隔講義室 (Zoom)

アクセス先のリンク(URL)とパスワードは、以下のサイトにてお申し込みをいただいた方にメールでご連絡いたします。

対象： がん看護に携わる看護師、専門・認定看護師、
CNS コース大学院生、修了生、教員(先着 80 名)

講師： **濱本 千春 先生**

YMCA 訪問看護ステーション・ピース 所長

無料

お申し込み先(事前申し込みとなります)

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先等)を、**2023年1月20日(金)**までにご登録ください。

<http://www.apnhyogo.net/seminar/>

登録完了次第、折り返しアクセス先など詳細をご連絡いたします。スマートフォンなどからお申し込みの場合、PC からのメール受信ができる設定にしておいてください。また定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただくことがありますのでご了承ください。



主催

兵庫県立大学大学院看護学研究科多様な新ニーズに対応する
「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン(責任者:川崎 優子)

講師紹介

濱本 千春(はまもと ちはる)先生

社会福祉法人広島 YMCA 福祉会 YMCA 訪問看護ステーション・ピース所長。

がん専門看護師として、広島市内で訪問看護師として直接ケアを担われる一方、管理者として、学会発表や講演活動もされておられます。

講演内容

COVID-19 流行下では、医療機関において在宅移行のプロセスに時間をかけて支援することが難しくなり、がん患者の在宅療養に関わる意思決定支援十分にできているのか、看護師として不全感を感じる場面が多々あります。講演では、がん患者の在宅療養において、どのような課題があるか、その課題に対して OCNS としてどのようなことができるのか、について現状をお話いただきます。

また、在宅移行後の終末期がん患者の暮らしのイメージを深めながら、連携時にどういった情報が在宅で必要とされるのか、短期間で患者や家族の意向を引き出すアプローチの実際などについて示唆を頂きます。

後半では、参加者同士のディスカッションの機会を設け、在宅移行支援におけるがん看護専門看護師の役割について考えます。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局

兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL:078-925-0860 FAX:078-925-0858

E-mail: ganpro29-jim@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo